

5 学年題材指導計画

合唱の美しいひびきを味わおう（6時間扱い）

1. 題材のねらい

人の声の特徴や美しさを感じ取って、聴くことができるようにする。
声の重なり合う響きを感じ取って、二部合唱することができるようにする。

2. 教材について

(1) 牛坂洋美さんによるミニオペラコンサート・音楽発表会児童の部の鑑賞

すみれ（スカラッティ作曲）、フィガロの結婚（モーツァルト作曲）、
サンタ・ルチア（ナポリ民謡）、ふるさと（文部省唱歌、高野辰之作詞、岡野貞一作曲）など
《学習指導要領との関連》B(1)ウ

本校出身者のメゾソプラノ歌手、牛坂洋美さんのミニコンサートを聴く。子どもたちにも聴きやすいメゾソプラノの音域での歌唱を鑑賞する。楽曲は、イタリアオペラの曲が中心である。イタリア語などの原語での歌唱を鑑賞することで、声の響きや発音、発声の素晴らしさや子どもと大人の声質の違いを感じ取ることができるようにしたい。また、独唱と合唱の演奏をそれぞれ聴くことによって、それぞれのよさにも気付かせていきたい。

(2) 音楽発表会児童の部鑑賞

《学習指導要領との関連》B(1)ウ

音楽発表会では、合唱団と2、4年生の演奏を聴く。合唱団では、「くじらのなみだ」という歌詞の内容を理解し、曲想の表現を工夫できる楽曲を取り上げる。また、曲の山の部分は、二部から四部への構成へと変化する時の響きの広がりを味わって聴くことができる。また、2、4年生のそれぞれの発表では、各学年の発達段階に応じた声の響きや二部合唱の声の重なり合う響きを感じ取れるようにしたい。

(2) With You Smile（水本誠・英美作詞、水本誠作曲、富沢裕編曲）

* 音楽発表会演奏曲

《学習指導要領との関連》A(2)ア、A(2)イ、A(3)ア

神戸の養護学校を卒業した仲間の楽団に支援する作曲家が作った楽曲である。人と人のふれあいから生まれた曲で、歌う人、聴く人の心をひとつに結び合わせてくれるような楽曲である。前半部は斉唱で、中間から後半にかけて二部から三部合唱の形を取っており、様々な合唱が楽しめる。

歌いやすく覚えやすい旋律であるが、長く伸ばす音が多いのが特徴でもあり、ブレスの位置がむずかしいので、フレーズを意識してブレスできるように歌わせていきたい。また、歌詞にこめられた思いを自分の思いとして聴く人に歌いかけることを意識させたい。一つ一つの音をマルカート気味に歌って、リズムの躍動を楽しんで歌わせたい。二部合唱が主であるが、部分的に三部合唱にもなるので、その音の重なりも感じ取って歌えるようにしていきたい。

(3) それは地球（長崎一男作詞・森京太郎作曲）

《学習指導要領との関連》A(2)ア、A(2)イ、B(1)ウ

わたしたちの母なる大地である地球、その未来を守っていききたいという願いが込められた歌詞になっている。曲の構成は、A(a b) B(c c')の二部形式でまとめられていて、その構成が子どもたちにとっても分かりやすいものになっている。特に、3段目からの三部合唱の部分では、それぞれのパートの声の重なりが和音の形になっており、音が増えていくことによる響きの広がりに気付きやすいものになっている。そこで三部合唱への取り組みを通して、八長調の主要和音の、の音の豊かな響きを自分たちの歌声で実感するようにしたい。

3. 題材の評価規準

	ア 音楽への 関心・意欲・態度	イ 音楽的な 感受や表現の工夫	ウ 表現の技能	エ 鑑賞の能力
題材の 評価 規準	人の声の特徴や響きに関心をもち、美しい響きを意識して表現しようとしている。	声の重なり合う響きを感じ取り、理解した歌詞の内容や楽曲の構成に合った歌い方や表現を工夫している。	重なり合う声の響きに気を付け、理解した歌詞の内容や楽曲の構成に合ったふさわしい歌い方を工夫して合唱している。	人の声の様々な種類や響きの美しさを感じたり、演奏形態による表現の違いに理解したりしながら聴いている。
学習 形態 にお ける 具体 の評価 基準	<p>独唱，斉唱や合唱など様々な美しい表現に関心をもって聴いている。</p> <p>【Aと判断するキーワード】 自分なりの言葉で表現 曲想に合った身体表現 一緒に口ずさみながら 自分自身の表現意図をもち，集団で協力して歌唱表現の仕方を工夫しようとしている。</p> <p>【Aと判断するキーワード】 積極的な発表 明確な曲想表現 友達への積極的なかわり</p> <p>声の重なり合う響きの美しさに関心をもって自分の歌唱表現に生かそうとしている。</p> <p>【Aと判断するキーワード】 一緒に口ずさみながら 曲想に合った身体表現 積極的な発表</p>	<p>声の重なり合う響きを感じ取り，パートバランスを意識した曲想表現を工夫している。</p> <p>【Aと判断するキーワード】 積極的な工夫 和声の響きを生かして 曲の表情を感じ取って 強弱などをつけて 声の重なり合う響きや和音の構成になっていることを感じ取って 歌い方を工夫している。</p> <p>【Aと判断するキーワード】 正しい音程での歌唱 積極的な発表 音量のバランスを意識して 歌詞の表す内容や楽曲の構成を理解し，強弱の変化を工夫して歌っている。</p> <p>【Aと判断するキーワード】 自分の思いの明確なイメージ化 積極的な発表 友達への積極的なかわり</p>	<p>発声に気を付けて，柔らかい響きのある声で歌っている。</p> <p>【Aと判断するキーワード】 低声部分での響きのある発声 母音や鼻濁音などの発声に気を付けて 正しい音程での歌唱 曲想表現を工夫して歌っている。</p> <p>【Aと判断するキーワード】 曲想にふさわしい歌い方 積極的な曲想表現 友達の歌声に耳を傾け，みんなの声と合わせて重なり合う声の響きを意識して歌っている。</p> <p>【Aと判断するキーワード】 顔の表情も意識して 言葉のまとまりを意識した歌唱</p>	<p>美しい響きの歌声や歌唱表現のよさを感じ取って聴く。</p> <p>【Aと判断するキーワード】 自分なりの言葉で表現 演奏者の思いを理解 自分の歌声と比較しての聴取 様々な演奏形態の違いをとらえ，その音楽の美しさや特徴を感じ取って聴く。</p> <p>【Aと判断するキーワード】 独唱や斉唱，合唱の響きの違いを自分の言葉で表現 曲想を感じ取りながらの聴取 友達の表現を互いに聴いて，そのよさや美しさを感じ取って聴いている。</p> <p>【Aと判断するキーワード】 積極的な発表 観点を明確にした評価</p>

4. 指導と評価の計画（6時間扱い）

： 取り扱い項目

： 取り扱い重点項目

時	主な学習内容	具体の評価規準	指導要領との関連	内容のまとめりと関連				評価方法等
				歌唱	器楽	創作	鑑賞	
1	<p>【牛坂洋美さんによるミニ・コンサート】</p> <p>大人の声の特徴や美しさを感じ取って聴く。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分たちの歌声との違いや響きの美しさを感じ取って聴く。 美しい歌唱表現のよさを見つけながら、その美しさを味わう。 <p>独唱と合唱の違いを感じ取って聴く。</p> <ul style="list-style-type: none"> 牛坂さんの独唱と合唱団との合唱を聴き比べて、響きを感じ取る。 	<p>ア -</p> <p>エ -</p> <p>エ -</p>	<p>B (1)ウ</p> <p>B (1)ウ</p> <p>B (1)ウ</p>					<p>行動観察</p> <p>学習カード</p>
2	<p>【With You Smile】</p> <p>歌詞唱する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 曲想をつかみながら歌い、表現の仕方を考え合う。 リズムの取れない部分を取り出して練習する。 <p>低声部の音を確かめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 全員で音程を確かめながら歌う。 低声部の声の響きに気を付けて歌う。 <p>二部合唱する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 主旋律がどこか意識しながら合唱する。 曲の山をどこにするか話し合いながら工夫し合う。 	<p>ア -</p> <p>ウ -</p> <p>イ -</p>	<p>A (2)ア</p> <p>A (3)ア</p> <p>A (2)イ</p>					<p>行動観察</p> <p>発表</p> <p>歌唱聴取</p> <p>学習カード</p>
3	<p>二部合唱の響きをつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 上声部、低声部それぞれに声の響きを確かめて歌う。 響き合っているかどうか確かめながら歌う。 <p>表情豊かな二部合唱になるよう工夫する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 一番伝えたい部分の歌い方の工夫について話し合い、練習する。 旋律やリズムの変化を確かめ、歌い方やテンポ、強弱の付け方、曲の山など、表現の仕方を工夫し合う。 声の響き合いを感じ取って、曲の山を意識しながら二部合唱する。 	<p>ウ -</p> <p>ア -</p> <p>イ -</p> <p>ウ -</p>	<p>A (3)ア</p> <p>A (2)ア</p> <p>A (2)ア</p> <p>A (2)ア</p>					<p>行動観察</p> <p>歌唱聴取</p> <p>発表</p> <p>学習カード</p>

4	<p>【音楽発表会児童の部・鑑賞】 2年生「Make A Wish」 4年生「地球の家族」 合唱団「くじらのなみだ」 を味わいながら聴く。 ・2年生，4年生のそれぞれの曲の 声の響きを感じ取りながら聴く。 ・合唱団の声の響き合いを感じ取り ながら聴く。 ・曲想を生かす工夫はどこか考えな がら聴く。</p>	<p>エ - エ -</p>	<p>B (1)ウ B (1)ウ</p>					<p>行動観察 学習カード</p>
5	<p>【それは地球】 曲の感じを生かして主旋律を歌 う。 ・範唱を聴く。 ・歌声の重なり合いに気を付けて聴 く。 ・主旋律の音程を確かめながら歌う。 和声の響きを感じ取って歌う。 ・中声部，低声部を歌う。 ・和声の部分を響きの広がりを感じ ながら階名視唱する。 ・和声の部分を長音で重ねて歌い， 八長調の主要和音の音で構成され ていることに気付いて歌う。</p>	<p>ア - イ - イ -</p>	<p>A (2)イ A (2)イ A (2)イ</p>					<p>行動観察 発表 歌唱聴取 学習カード</p>
6	<p>声の響き合いを感じ取りながら， 二部合唱する。 ・2つのグループに分かれて練習す る。 ・3，4段目の和声の部分を練習し， 響きの広がりを感じながら歌う。 ・歌詞の内容を生かした曲想表現を 工夫して歌う。 グループごと発表し，互いに声の 響き合いを聴く。 ・和声の部分の響きに特に気を付け て，グループごと発表する。 ・互いの響き合っていたところや曲 想を生かして歌っていたところを聴 き合い，見つけたことを発表する。</p>	<p>イ - ウ - エ -</p>	<p>A (2)ア A (2)イ B (1)ウ</p>					<p>行動観察 歌唱聴取 学習カード 発表</p>